

1. 件 名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構との審査の進め方に関する面談

2. 日 時：令和4年8月9日（火）9：00～9：30

3. 場 所：原子力規制庁10階南会議室（テレビ会議）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 研究炉等審査部門

志間安全規制管理官（研究炉等審査担当）、来住管理官補佐、小多係長、水野係員

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括本部 奥田 本部長代理 他2名

大洗研究所 高速実験炉部 部長 他1名

5. 要 旨

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「機構」という。）から、「常陽」の新規制基準への適合性確認に係る技術資料等提示予定について説明があった。

原子力規制庁（以下「規制庁」という。）から、以下の点を確認した。

- ・本年9月に提示される予定のまとめ資料のプラント関連の補正は、9月に予定している補正か、11月に予定している補正か、どちらで提出する予定か。
- ・まとめ資料の説明を7月中に一通り終えるという機構からの要望もあり、本年6月、7月に審査会合を集中的に開催して対応したが、結果的にまとめ資料が完成していない状態で会合を開催する結果となった。今後、具体的にどのような再発防止策を講じるのか。

これに対し、機構から、以下の説明があった。

- ・外部事象や火災対策等のプラント関連は、本年11月に予定している補正で提出する予定。
- ・不完全なまとめ資料を審査会合に提示したことに関する再発防止策として、人的リソースを増強するとともに、資料については、HTTRの例を参考にしながら、不足分のチェックを行っている。

これに対し、規制庁から、了承した旨回答した。

6. 配布資料

大洗研究所（南地区）高速実験炉原子炉施設（「常陽」）の新規制基準への適合性確認に係る技術資料等提示予定

以上